

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

日之影町教育委員会

平成29年4月に小学校6年生（国語、算数）を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の日之影町立学校の結果（平均正答率）についてお知らせします。

町内小学校6年生（4校 35名）

国語

- A問題（主として知識の定着をみる問題）は、県平均を下回っている。また、全国平均を若干上回っている。
- B問題（主として知識の活用をみる問題）は、県平均、全国平均を共に下回っている。

（対策）

- 領域別について、特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」に係る指導の徹底を図る。
- 活用型の授業において、自分の考えを表現する場面を意図的に位置づける。

算数

- A問題（主として知識の定着をみる問題）は、県平均、全国平均を共に上回っている。
- B問題（主として知識の活用をみる問題）は、県平均、全国平均を共に下回っている。

（対策）

- 領域別について、特に「数と計算」に係る指導の徹底を図る。
- 活用型の授業において、自分の考えを表現する場面を意図的に位置づける。

町内中学校3年生（1校 27名）

国語

- A問題（主として知識の定着をみる問題）は、県平均、全国平均を共に上回っている。
- B問題（主として知識の活用をみる問題）は、県平均、全国平均を共に上回っている。

（対策）

- 領域別について、特に「読むこと」「伝統的な言語と国語の特質に関する事項」に係る指導の充実を図る。

数学

- A問題（主として知識の定着をみる問題）は、県平均、全国平均を共に上回っている。
- B問題（主として知識の活用をみる問題）は、県平均、全国平均を共に上回っている。

（対策）

- 領域別について、特に「図形」に係る指導の徹底を図る。
- 活用型の授業において、論理的に考察し、自分の考えを的確に表現する場面を意図的に位置づける。